SRL-800シリーズ
取扱説明書

株式会社エス・アール作成
平成16年7月16日

＜初版＞

本装置を使用する前に、必ず本取扱説明書を読み、
内容を十分にご理解した上で使用してください。

まえがき
取扱説明書について
(1) この度は株式会社　エス･アール　SRL-800シリーズをご購入していただき、誠にありがとうございました。

(2) 本説明書の内容について疑問が起きたり、ご不明な点がある場合は当社までご連絡をお願いします。
判らないまま使用したり、誤った操作を行うと事故につながります。

(3) 本取扱説明書の記載内容以外の目的で使用された場合に、発生した事故及び本装置を当社の許可なく改造して発生した事故については、当社は一切の責任を負いません。
(4) 本取扱説明書の無断複写、無断翻訳を禁止します。

当社の連絡先を示します。
地域の連絡先を予告なく変更する場合があります。承知おきください。
株式会社　エス･アール
本社　〒487－0025　愛知県春日井市出川町5丁目26番地の3
Tel　(0568)　53－1061

⚠ 注意

・光源を目に当てたり見つめたりしないで下さい。
・幼児の手の届かない場所でご利用下さい。
・バーコードの読み取り以外で使用しないで下さい。
・弊社の許可なく改造、分解、修理を行わないで下さい。
・医療機器、原子力設備や機器など人命に関わる設備や機器として使用しないで下さい。
・取扱説明書及び補足資料に記載のない環境で使用しないで下さい。

安全に正しくご使用いただくために
・本機を分解、改造しないでください。
・ケーブル類は、高圧線や動力源からできるだけ離してください。ノイズにより、故障や誤動作の原因になります。
・ケーブルを持って持ち運ばないで下さい。
・投受光部に水、油、ほこりなどを付着させないでください。
・本機は精密機器ですので、落下させた場合、破損する恐れがあります。持ち運びの際や設置の際はご注意下さい。
・この取扱説明書を印字する場合はレーザープリンタを推奨いたします。

インデックス

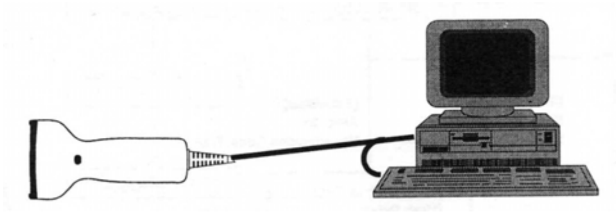
⑴　取扱説明内容

⑵　バーコードの設定内容

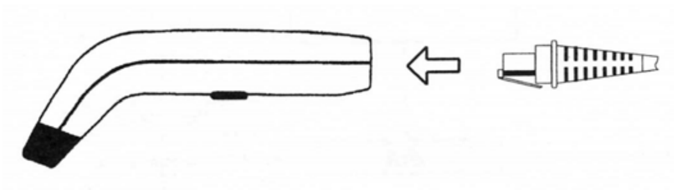
⑶　その他の設定内容

インストレーション
例：キーボードウェッジタイプのスキャナー

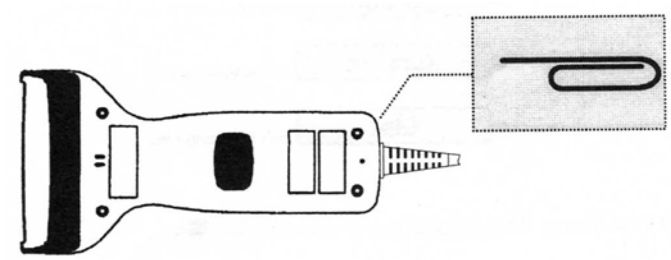
1) 端末からキーボードコネクタを外して、スキャナーのYケーブルをつなぎ、その後端末のキーボードポートにつないで、端末の電源を入れます。



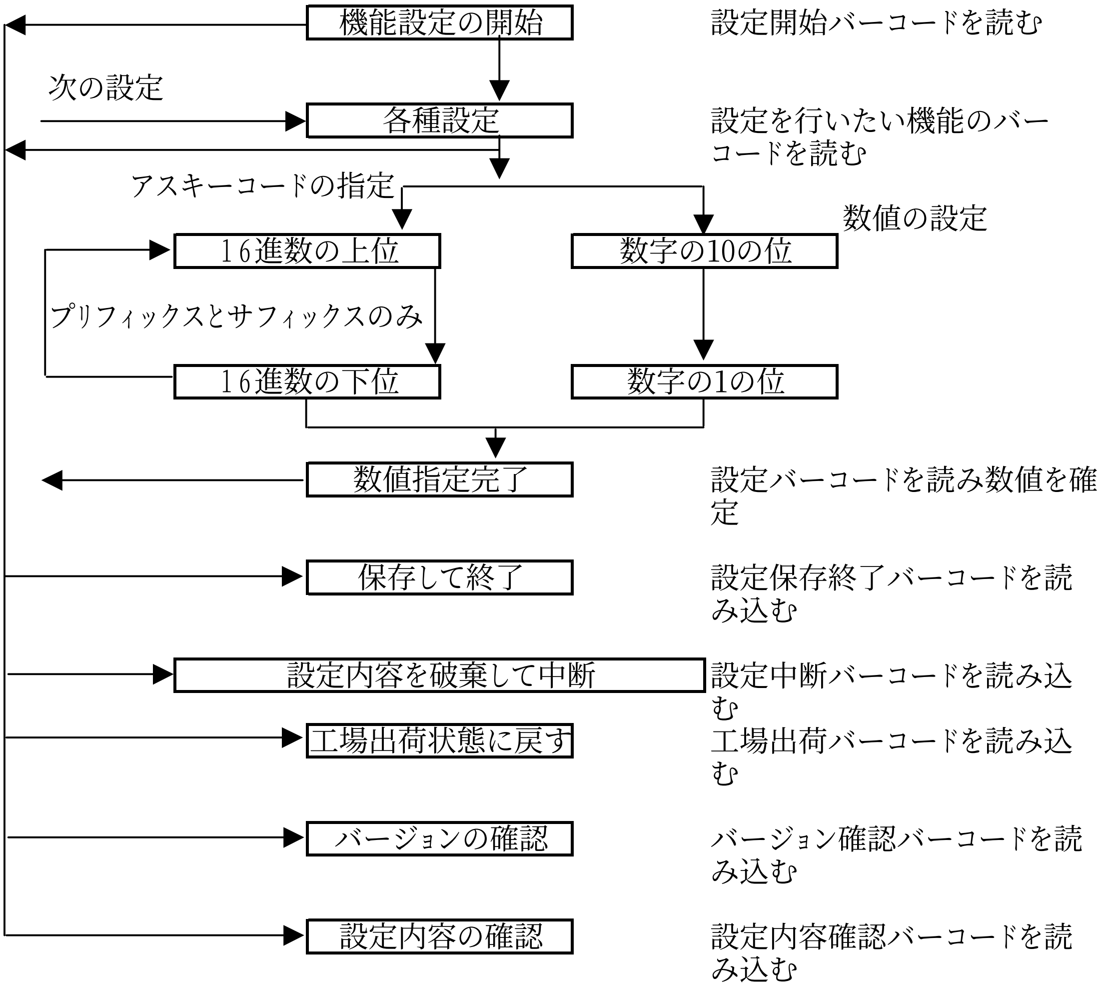
2) バーコードリーダは電話用ジャック型のコネクターによってつなげてあります。



3) 電話用ジャック型コネクターはスキャナーから簡単に取り外せます。スキャナーの後ろにある小さな穴にピンか針を差し込んでください。



設定手順



設定を行っている最中にわからなくなってしまった場合には、設定内容を工場出荷状態に戻して、最初から行う事をお勧めいたします。工場出荷状態は＜　＞で示されています。

用語の意味

①設定項目名. . . . 各機能の設定項目の名前

②設定開始バーコード. . . . 設定を開始する際に1番最初に読み込むバーコード

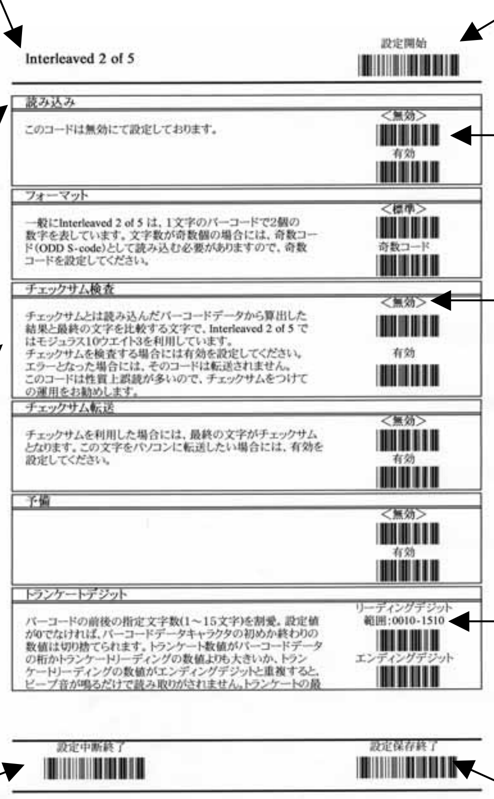
③機能設定バーコード. . . . 各設定機能のためのバーコード

設定機能名. . . . 各設定の機能の名前

工場出荷値. . . . 工場出荷状態の設定の表記は＜　＞

設定説明. . . . 各種設定内容の説明

設定範囲. . . . 設定する際の決められた範囲



Interleaved 2 of 5　　設定開始

読み込み

このコードは無効にて設定しております。

＜無効＞　有効

フォーマット

一般にInterleaved 2 of 5 は、1文字のバーコードで2個の数字を表しています。文字数が奇数個の場合には、奇数コード(ODD S-code)として読み込む必要がありますので、奇数コードを設定してください。

＜標準＞　奇数コード

チェックサム検査

チェックサムとは読み込んだバーコードデータから算出した結果と最終の文字を比較する文字で、Interleaved 2 of 5 ではモジュラス10ウエイト3を利用しています。
チェックサムを検査する場合には有効を設定してください。
エラーとなった場合には、そのコードは転送されません。
このコードは性質上誤読が多いので、チェックサムをつけての運用をお勧めします。

＜無効＞　有効

チェックサム転送

チェックサムを利用した場合には、最終の文字がチェックサムとなります。この文字をパソコンに転送したい場合には、有効を設定してください。

＜無効＞　有効

予備

＜無効＞　有効

トランケートデジット

バーコードの前後の指定文字数(1～15文字)を割愛。設定値が0でなければ、バーコードデータキャラクタの初めか終わりの数値は切り捨てられます。トランケート数値がバーコードデータの桁かトランケートリーディングの数値よりも大きいか、トランケートリーディングの数値がエンディングデジットと重複すると、ビープ音が鳴るだけで読み取りがされません。トランケートの最

リーディングデジット　範囲:0010-1510　エンディングデジット

設定中断終了　設定保存終了

設定中断終了バーコード

③設定保存終了バーコード. . . . 設定を終了する際に1番最後に読み込むバーコード

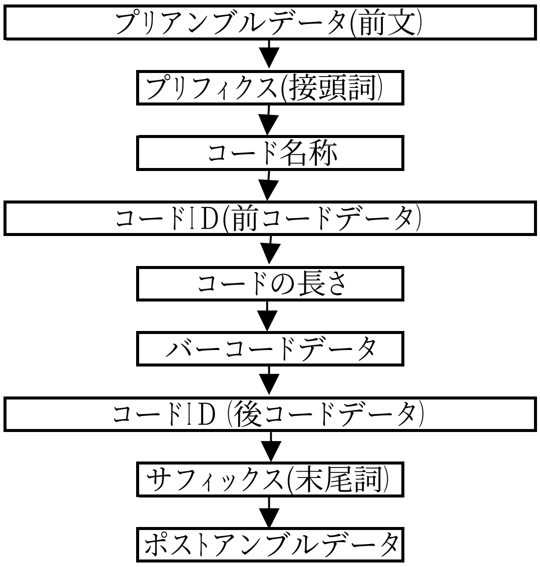
設定の仕方

スキャナーの全機能設定は本取扱説明書のバーコードを読み込むことにて行います。
以下の設定の仕方を参考にして必要なページをA4にて印字した上、読込んで設定願います。

①設定したい項目のページを開きます。
②設定開始のバーコードを読み込みます。
③設定したい機能の設定用バーコードを読み込みます。
④設定保存終了のバーコードを読み込みます。

出力データフォーマット

読み込んだバーコードの前後に必要なデータを付加させることができます。



バーコードリーダにプログラムをセットアップするためにはセットアップの手順にそって頂く必要があります。
下記の2つのサンプルをご参照下さい。

例1：コード39のセットアップ方法

Begin →設定開始
Code 39 On →コード39を読み取り可能にする
Full ASCII →フルアスキーⅡタイプの選択
Verify checksum →チェックコントロール（コード43）を有効にする
End →設定完了

例2：フラッシュオン･オフ時間の設定方法

Begin →設定
Flash mode →フラッシュモードを設定する
Flash On/Off →フラッシュのオン･オフ時間を設定に入る
Appendix A "0","A" →フラッシュオン0．1秒
Appendix A "0","1" →フラッシュオフ　1秒
End →設定完了

”＜　＞”印のついている初期設定はバーコードリーダがプログラムされたときに上書きされます。
セットアップのパラメータの詳細は後ろのプログラムの項に示します。
プログラムされた全ての設定は常時EEPROMに保存されます。

初期設定

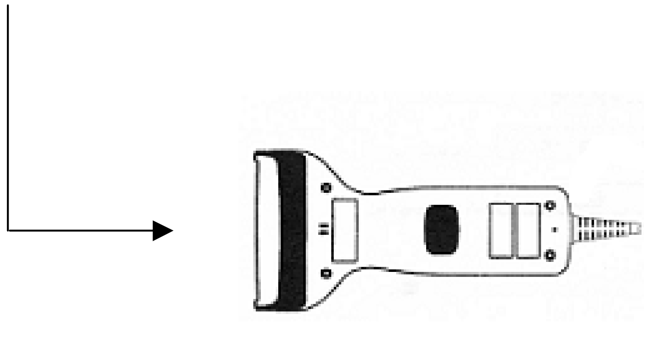
DEFAULTのバーコードを読み込み時の内容です。

バーコードの設定内容

コード種類	読込有効
Code 39	○
Interleaved 2 of 5	
Industrial 2 of 5	
Martrix 2 of 5	
Codabar/NW7	○
EAN 13(JAN 13)UPC-A	○
EAN 8(JAN 8)	○
UPC-E	○
EAN(JAN)/UPC Add-on2/5	
Code 128	○
Code 11	○
China post 2 of 5	
Code 93	

保守

バーコードリーダが読みにくくなった場合は、エタノールを含ませた布でレンズの部分を拭き、よごれやほこりを取り除いてください。



弊社出荷時の設定

☆出荷時の設定内容

弊社のバーコードリーダは、下記の設定をして出荷しています。 1
出荷時の設定に戻されたい場合は下記のバーコードを上から順番に読み込んでください。

A) デフォルトの設定をします。 2
1. 英文マニュアル8ページの最上段 「Begin」のバーコードを読み込みます。
2. 「Default」のバーコードを読み込みます。

1
B) 日本語キーボード(106)の設定をします。
1. 12ページの最上段 「Begin」のバーコードを読み込みます。
2. 同ページの右段の最下段 「Japan」のバーコードを読み込みます。 2
3. 13ページの最下段 「End」のバーコードを読み込みます。

3

1
C) バーコードリーダのスキャニングモードを連続読込設定にします。
1. 18ページの最上段 「Begin」のバーコードを読み込みます。
2. 同ページの下から3番目 「LED ON」のバーコードを読み込みます。 2
3. 19ページの最下段 「End」のバーコードを読み込みます。

3

注意
上記の設定は出荷時の設定に戻されたいときに行ってください。
何らかの事情で調子が悪くなったとき等、上記の設定をお薦めいたします。

Keyboard Wedge (キーボードインターフェイス)

START (設定開始)

☆Keyboard Type (キーボードタイプ)

スキャナーは、工場出荷時にて日本の環境に適する設定を行い出荷しております。お客様の使用環境(マシン種類) 等によりましては、動作しない場合もあると思われます。このような場合に、本設定を行い正しく動作するかお試しいただけるようにしております。

Apple Macintosh

PC XT

NEC9800

＜PC AT,PS/2 50 60 70 80＞

ACER 7300

IBM5550

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

Keyboard Wedge (キーボードインターフェイス)

START (設定開始)

☆Keyboard Language (キーボード言語)

スキャナーは、工場出荷時にて英語キーボードが接続されている設定となっております。その他の国の設定も可能です。

＜US (英語)＞

UK (英国英語)

French (フランス)

Germany (ドイツ)

Belgium (ベルギー)

Netherlands(オランダ)

Sweden (スウェーデン)

Norway (ノルウェー)

Denmark (デンマーク)

Spanish (スペイン)

Italian (イタリア)

Swiss (スイス)

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

Keyboard Wedge (キーボードインターフェイス)

START (設定開始)

Portugal (ポルトガル)

Hungary (ハンガリー)

Greece (ギリシャ)

Yugoslavia (ユーゴスラビア)

Finland (フィンランド)

Slovakia (スロバキア)

Japan (日本)

Yugoslavia Cyrillic (ユーゴスラビアロシア)

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

START (設定開始)

RS-232C (RS-232Cインターフェイス)

☆Baud Rate (通信速度)

スキャナーは、工場出荷時は9600BPSにて設定されております。

1200

＜9600＞

2400

19200

4800

38400

☆Data Parity (パリティ長)

スキャナーは、工場出荷時はなしにて設定されております。

＜Disabled＞

Even (偶数)

Odd (奇数)

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

START (設定開始)

RS-232C (RS-232Cインターフェイス)

☆Data Bits (データ長)

スキャナーは、工場出荷時は8ビットにて設定されております。

7Bits (7ビット)

<8Bits (8ビット)>

☆Handshaking (ハンドシェイキング)

プロトコルは、スキャナーとシリアルホストコンピュータ間のデータフローを制御します。

<Disabled (無効) >

XON/XOFF

RTS/CTS RS232

RTS Active Status

Inv.Data Ready (Inv.データレディ)
(RTS Low)

<Data Ready (データレディ)>
(RTS High)

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

☆Disable (無効)

通信方法は、リード線(TXD)か受信データ(RXD)で、どんなハードウェア(RTS/CTS)でもソフトウェア(XON/XOFFかACK/NAK)ハンドシェイキングでもかまいません。

☆XON/XOFF

受信デバイスが送信デバイスにCtrl-SとCtrl-QでASCⅡ XON/OFFコードを送ったときに、制御されたデータフローがデバイス間で行われます。つまり、受信デバイスがデータを受け取れないとき、XOFFコードを出し、ホストコンピュータに一時的にデータ送信を停止するよう知らせます。

☆RTS/CTS (CTS/RTS)

この機能が選択されているときは、通常のデータ通信の前に送信要求信号(RTS)と送信可信号(CTS)が送られます。例えば、スキャナーがバーコードデータをホストコンピュータに送ろうとしたとき、まずスキャナーは送信要求信号(RTS)を出し、ホストコンピュータからの送信可信号(CTS)を待ち、その後、通常のデータ通信が行われます。

☆Inv.Data Ready (データレディ)

下記の掲載されているデータレディと同じです。しかし送信要求信号 (RTS)ロジックは戻されます。

☆Data Ready (データレディ)

スキャナーはデコードが成功したことを示すために送信要求信号(RTS)を出し、送信可信号(CTS)を受け取ると、データを送信します。

START (設定開始)

Scanning Mode (読込状態)

Trigger pressed (ﾄﾘガー押)

Trigger pressed (ﾄﾘガー押)

ボタンを押した時にオン
ボタンを離したときにオフ

＜Trigger ｏn (ﾄﾘガーオン) ＞

＜Trigger ｏn (ﾄﾘガーオン) ＞

3秒間に対してオン
バーコードがスキャンされた時にオフ

Trigger on/off (ﾄﾘガーオン/オフ)

Trigger On/Off
(ﾄﾘガーオン/オフ)

ボタンを押した時にオン　常時ライト
再び、ボタンを押した時にオフ

LEDオン

LED　ON
(LEDオン)

常時オンの状態
オフにならない

30秒ﾄﾘガーオン

Trigger On 30 sec.
(30秒ﾄﾘガーオン)

30秒間オン
30秒後自動的にオフ
再び、ボタンを押した後オフ

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

Scanning Mode (読込状態)

START (設定開始)

トリガーオプション	
オプションに対してオン 設定されたタイムアウト後、自走的にオフ 再び、ボタンを押した後オフ	Trigger for option (トリガーオプション)

☆ディレイタイム
トリガーディレイタイムを限定されたい時、付録Aと付録Bより3秒から255秒の間に限定する機能があります。 例:15秒間トリガーオンの状態の設定の仕方 「Bigin (開始)」を読み込む→「Trigger for opution(トリガーオプション)」→付録A「0」→「F」→「SET (セット)」→「END (終了)」

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

START (設定開始)

Scanning Mode (読込状態)

連続読込

常時オン
オフにならない。又はトリガーオフ
セイフティタイムデフォルト値は1秒間

Continuous reading
(連続読込)

セイフティタイムセッティング

「Begin(開始)」を読み込み後、
「Safety Time (セイフティタイム) 」
+「0」+「6」+「Set(セット)」+「End (終了) 」

Safty time setting
(セイフティタイムセッティング)

フラッシュモード

デフォルト値は0.4秒間のフラッシュオン
0.2秒間のフラッシュオフ

Flash Mode
(フラッシュモード)

フラッシュオン/オフタイム

「Begin(開始)」を読み込んだ後
「Flash on/ off Time (フラッシュオン/オフタイム) 」
+「0」+「A」+「0」+「6」+「Set (セット) 」
+「End (終了) 」
設定値は1秒間のフラッシュオン、0.6秒間のフラッシュオフ

Flash on/off time
(フラッシュオン/オフタイム)

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

UPC-A

START (設定開始)

☆Read (読み込み)

このコードは有効にて設定しております。

Disable (無効)

<Enable (有効)>

☆Checksum Transmission (チェックサム転送)

このコードでは、チェックデジットが標準で含まれています。チェックデジットはバーコードの最終の1文字ですが、これを転送したくない場合には、無効を設定してください。

Disable (無効)

<Enable (有効)>

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

START (設定開始)

UPC-E

☆Read (読み込み)

Disable (無効)

このコードは有効にて設定しております。

<Enable (有効)>

☆Checksum Transmission (チェックサム転送)

Disable (無効)

このコードでは、チェックデジットが標準で含まれています。
チェックデジットはバーコードの最終の1文字ですが、これを転送したくない場合には、無効を設定してください。

<Enable (有効)>

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

START (設定開始)

EAN-13

☆Read (読み込み)

このコードは有効にて設定しております。

Disable (無効)

＜Enable (有効)＞

☆ISBN/ISSN Transmission (ISBN/ISSN転換)

ISBN（国際標準図書番号）とISSN（国際標準逐次刊行物番号）は、2種類のバーコードブックランドラベルです。ISBNは978がついた10桁の数字で、ISSNはEAN-13のコード体系の977がついた8桁の数字です。

＜Disable (無効)＞

Enable (有効)

☆Checksum Transmission (チェックサム転送)

このコードでは、チェックデジットが標準で含まれています。チェックデジットはバーコードの最終の1文字ですが、これを転送したくない場合には、無効を設定してください。このチェックデジットは、モジュラス10ウエイト3にて算出されています。

Disable (無効)

＜Enable (有効)＞

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

EAN-8

START (設定開始)

☆Read (読み込み)

このコードは有効にて設定しております。

Disable (無効)

＜Enable (有効)＞

☆Checksum Transmission (チェックサム転送)

このコードでは、チェックデジットが標準で含まれています。
チェックデジットはバーコードの最終の1文字ですが、これを転送したくない場合には、無効を設定してください。このチェックデジットは、モジュラス10ウエイト3にて算出されています。

Disable (無効)

＜Enable (有効)＞

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

START (設定開始)

Code-39

☆Read (読み込み)

このコードは<u>有効</u>にて設定しております。

Disable (無効)

<Enable (有効)>

☆Code-32[Italian Pharmac.] Translation (Code-32の転送)

CODE-32はCODE-39の別バージョンで、0から9までの桁のバーコードデータです。初めのAは任意のキャラクタで、送信してもしなくてもいいものです。

<Disable (無効)>

Enable (有効)

☆Start/End Transmission (スタート/ストップコード転送)

CODE-39のスタートコードとストップコードである、"*"転送を指定します。有効を設定した場合には、バーコードデータは前後に"*"が付加され、はさまれた形でパソコンに転送されます。

<Disable (無効)>

Enable (有効)

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

Code-39

START (設定開始)

☆Checksum Verification (チェックサム検査)

チェックサムとは読み込んだバーコードデータから算出した結果と最終の文字を比較する文字で、CODE39 ではモジュラス43を利用しています。チェックサムを検査する場合には有効を設定してください。エラーとなった場合には、そのコードは転送されません。モジュラス43は、CODE39 で利用している43 種類の文字にそれぞれ番号を割り当て算出された数字です。

＜Disable (無効)＞

Enable (有効)

☆Checksum Transmission (チェックサム転送)

チェックサムを利用した場合には、最終の文字がチェックサムとなります。

Disable (無効)

＜Enable (有効)＞

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

START (設定開始)

Interleaved 2 of 5

☆Read (読み込み)

このコードは無効にて設定しております。

<Disable (無効)>

Enable (有効)

☆Checksum Transmission (チェックサム転送)

チェックサムを利用した場合には、最終の文字がチェックサムとなります。この文字をパソコンに転送したい場合には、有効を、転送しない場合は無効を設定してください。

Disable (無効)

<Enable (有効)>

☆Checksum Verification (チェックサム検査)

チェックサムとは読み込んだバーコードデータから算出した結果と最終の文字を比較する文字で、Interleaved 2 of 5 ではモジュラス10ウエイト3を利用しています。
チェックサムを検査する場合には有効を設定してください。
エラーとなった場合には、そのコードは転送されません。
このコードは性質上誤読が多いので、チェックサムをつけての運用をお勧めします。

<Disable (無効)>

Enable (有効)

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

START (設定開始)

☆Define Length (コード長)

必要ならば、バーコード長を3固定にする設定が可能です。
付録Aの数値設定用コードを参照ください。
例:「0」「A」を読取る場合－10
「0」「C」を読取る場合－12
「0」「E」を読取る場合－14

「End (終了)」を読み込む前にコード長の値を確認する為に「Set (セット)」を読み込んで下さい。

コード長10桁、12桁、14桁、デジットと同等のみのインターリーブド2オブ5を読むことが可能となります。

Define Length
(コード長)

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

Industrial 2 of 5

START (設定開始)

☆Read (読み込み)

このコードは無効にて設定しております。

<Disable (無効)>

Enable (有効)

☆Checksum Transmission (チェックサム転送)

チェックサムを利用した場合には、最終の文字がチェックサムとなります。この文字をパソコンに転送したい場合には、有効を、転送しない場合は無効を設定してください。

Disable (無効)

<Enable (有効)>

☆Checksum Verification (チェックサム検査)

チェックサムとは読み込んだバーコードデータから算出した結果と最終の文字を比較する文字で、Industrial 2 of 5 ではモジュラス10ウエイト3を利用しています。チェックサムを検査する場合には有効を設定してください。エラーとなった場合には、そのコードは転送されません。

<Disable (無効)>

Enable (有効)

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

START (設定開始)

☆Define Length (コード長)

Define Length
(コード長)

必要ならば、バーコード長を3固定にする設定が可能です。
付録Aの数値設定用コードを参照ください。
例:「0」「A」を読取る場合ー10
「0」「C」を読取る場合ー12
「0」「E」を読取る場合ー14

「End (終了)」を読み込む前にコード長の値を確認する為に「Set (セット)」を読み込んで下さい。

コード長10桁、12桁、14桁、デジットと同等のみのインダストリアル2オブ5を読むことが可能となります。

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

START (設定開始)

Matrix 2 of 5

☆Read (読み込み)

<Disable (無効)>

このコードは無効にて設定しております。

Enable (有効)

☆Checksum Transmission (チェックサム転送)

Disable (無効)

チェックサムを利用した場合には、最終の文字がチェックサムとなります。この文字をパソコンに転送したい場合には、有効を、転送しない場合は無効を設定してください。

<Enable (有効)>

☆Checksum Verification (チェックサム検査)

<Disable (無効)>

チェックサムとは読み込んだバーコードデータから算出した結果と最終の文字を比較する文字で、Matrix 2 of 5 ではモジュラス10ウエイト3を利用しています。チェックサムを検査する場合には有効を設定してください。エラーとなった場合には、そのコードは転送されません。

Enable (有効)

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

Matrix 2 of 5

START (設定開始)

☆Define Length (コード長)

Define Length
(コード長)

必要ならば、バーコード長を3固定にする設定が可能です。
付録Aの数値設定用コードを参照ください。
例：「0」「A」を読取る場合－10
「0」「C」を読取る場合－12
「0」「E」を読取る場合－14

「End（終了）」を読み込む前にコード長の値を確認する為に「Set（セット）」を読み込んで下さい。

コード長10桁、12桁、14桁、デジットと同等のみのマトリックス2オブ5を読むことが可能となります。

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

START (設定開始)

Codabar/NW7

☆Read (読み込み)

このコードは有効にて設定しております。

Disable (無効)

<Enable (有効)>

☆Start/End Transmission (スタート/ストップコード転送)

Codaber のスタート･ストップコードをパソコンに転送する指定です。有効を設定した場合には、バーコードデータの前後にスタート･ストップコードが付加されパソコンに転送されます。

<Disable (無効)>

Enable (有効)

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

Codabar/NW7

START (設定開始)

☆Start/End Symbol Type (スタート･ストップ種類)

Codabar は、4種類のスタートコードとストップコードが用意されています。お使いになられるバーコードの種類に合わせて1つを選択してください。

ABCD/ABCD

ABCD/TN*E

＜ABCD/abcd＞

ABCD/tn*e

☆Checksum Verification (チェックサム検査)

チェックサムとは読み込んだバーコードデータから算出した結果と最終の文字を比較する文字で、Codabar ではモジュラス16を利用しています。チェックサムを検査する場合には有効を設定してください。エラーとなった場合には、そのコードは転送されません。

＜Disable (無効)＞

Enable (有効)

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

START (設定開始)

☆Checksum Transmission (チェックサム転送)

チェックサムを利用した場合には、最終の文字がチェックサムとなります。この文字をパソコンに転送したい場合には、有効を設定してください。

＜Disable (無効)＞

Enable (有効)

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

START (設定開始)

China Post 2 of 5

☆Read (読み込み)

このコードは無効にて設定しております。

<Disable (無効)>

Enable (有効)

☆Checksum Transmission (チェックサム転送)

チェックサムを利用した場合には、最終の文字がチェックサムとなります。この文字をパソコンに転送したい場合には、有効を、転送しない場合は無効を設定してください。

Disable (無効)

<Enable (有効)>

☆Checksum Verification (チェックサム検査)

チェックサムとは読み込んだバーコードデータから算出した結果と最終の文字を比較する文字で、China Post 2 of 5 ではモジュラス10ウエイト3を利用しています。チェックサムを検査する場合には有効を設定してください。エラーとなった場合には、そのコードは転送されません。

Disable (無効)

<Enable (有効)>

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

China Post 2 of 5

START (設定開始)

☆Define Length (コード長)

Define Length
(コード長)

必要ならば、バーコード長を3固定にする設定が可能です。
付録Aの数値設定用コードを参照ください。
例:「0」「A」を読取る場合－10
「0」「C」を読取る場合－12
「0」「E」を読取る場合－14

「End (終了)」を読み込む前にコード長の値を確認する為に「Set (セット)」を読み込んで下さい。

コード長10桁、12桁、14桁、デジットと同等のみのChina Postal を読むことが可能となります。

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

START (設定開始)

Code-11

☆Read (読み込み)

Disable (無効)

<Enable (有効)>

このコードは有効にて設定しております。

☆Checksum Verification (チェックサム検査)

Disable (無効)

<Enable (有効)>

チェックサムとは読み込んだバーコードデータから算出した結果と最終の文字を比較する文字です。チェックサムを検査する場合には有効を設定してください。エラーとなった場合には、そのコードは転送されません。

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

START (設定開始)

Output Control (出力コントロール)

☆Prefix Transmission (プリフィックス転送) & Suffix Transmission (サフィックス転送)

Prefix
(プリフィックス)

Suffix
(サフィックス)

プリフィックス記号またはサフィックス記号を読み込む場合は付録Aを参照して下さい。
サフィックスとして総計10文字にして下さい。
終了

例：プリフィックス＝STXとサフィックス＝CR+LFをセットする場合
「Begin（開始）」を読み込みます。
「Prefix（プリフィックス）」+「0」+「2」+「Set（セット）」を読み込みます。
「Suffix（サフィックス）」+「0」+「D」+「0」+「A」+「Set（セット）」を読み込みます。
「End（終了）」を読み込みます。

例：「Enter（エンター）」機能をセットする場合
「Begin（開始）」を読み込みます。
「Prefix（プリフィックス）」を読み込みます。
「0」+「D」+「Set（セット）」を読み込みます。
「End（終了）」を読み込みます。
※「0」+「D」+「0」+「D」と読み込みますと、「Enter（エンター）」が2回セットされます。

☆Code Name Transmission (コードネーム転送)

＜Disable (無効)＞

Enable (有効)

この機能はバーコードの名前を表示するときに使用します。
例：「Begin（開始）」→「YES」→「END（終了）」

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

START (設定開始)

Terminator (ターミネーター)

☆Terminator (ターミネーター)

改行コード設定です。

NONE (無し)

<CR (キャリッジリターン)>

LF (ラインフィード:RS232Cタイプのみ対応)

CR/LF (キャリッジリターン/ラインフィード:RS232Cタイプのみ対応)

SPACE (スペース)

TAB（タブ）

ESC（エスケープ）

CTRL-C（コントロール）

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

Terminator (ターミネーター)

☆NONE (無し)

入力されたバーコードデータの最後に、データを付加しません。例えば１２３４５のバーコードデータを連続して読み込んだ場合は、下記のようになります。

1234512345

☆＜CR (キャリッジリターン)＞

入力されたバーコードデータの最後に、CR (キャリッジリターン)を付加します。英文マニュアル38ページのアスキーコード表の＜0DH＞のコードです。例えば12345のバーコードデータを連続して読み込んだ場合は、下記のようになります。

12345 ＜CR＞
12345 ＜CR＞

☆LF (ラインフィード)

入力されたバーコードデータの最後に、LF (ラインフィード)を付加します。英文マニュアル38ページのアスキーコード表の＜0AH＞のコードです。例えば12345のバーコードデータを連続して読み込んだ場合は、下記のようになります。

12345 ＜LF＞12345＜LF＞

☆CR/LF (キャリッジリターン/ラインフィード)

入力されたバーコードデータの最後に、CR (キャリッジリターン)とLF (ラインフィード)を付加します。英文マニュアル38ページのアスキーコード表の＜0DH＞＜0AH＞のコードです。例えば12345のバーコードデータを連続して読み込んだ場合は、下記のようになります。

12345 ＜CR＞
＜LF＞ 12345＜CR＞
＜LF＞ 12345＜CR＞

☆SPACE (スペース)

入力されたバーコードデータの最後に、SPACE (スペース)を付加します。英文マニュアル38ページのアスキーコード表の＜20H＞のコードです。例えば12345のバーコードデータを連続して読み込んだ場合は、下記のようになります。

12345＜スペース＞12345

☆TAB (タブ)

入力されたバーコードデータの最後に、TAB (タブ)を付加します。例えば12345のバーコードデータを連続して読み込んだ場合は、下記のようになります。

12345＜TAB＞12345

Terminator (ターミネーター)

☆ESC (エスケープ)

入力されたバーコードデータの最後に、ESC (エスケープ)を付加します。例えば12345のバーコードデータを連続して読み込んだ場合は、下記のようになります。

12345＜ESC＞12345

☆CTRL-C (コントロール-C)

入力されたバーコードデータの最後に、ESC (エスケープ)を付加します。例えば12345のバーコードデータを連続して読み込んだ場合は、下記のようになります。

12345＜CTRL-C＞12345

Specific Adjustment (特殊機能)

START (設定開始)

☆Beep Loudness (ビープ音量)

＜最大＞

大

中

最小

小

☆Beep Duration (ビープ音長)

＜0.1秒＞

0.3秒

1秒

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

Appendix A (付録A)

START (設定開始)

☆Hexdecimal Code Table (数値設定用コード)

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

A

B

C

D

E

F

SET (セット)

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

Appendix　B　(付録B)
ASCⅡ Code Table (アスキーコード表)

DEC	HEX	ASCⅡ	DEC	HEX	PC & ASCⅡ
0	00	NULL	37	25	%
1	01	SOH	38	26	&
2	02	STX	39	27	*
3	03	ETX	40	28	(
4	04	EOT	41	29	)
5	05	ENQ	42	2A	*
6	06	ACK	43	2B	+
7	07	BEL	44	2C	,
8	08	BS	45	2D	-
9	09	HT	46	2E	.
10	0A	LF	47	2F	/
11	0B	VT	48	30	0
12	0C	FF	49	31	1
13	0D	CR	50	32	2
14	0E	SO	51	33	3
15	0F	SI	52	34	4
16	10	DLE	53	35	5
17	11	DC1	54	36	6
18	12	DC2	55	37	7
19	13	DC3	56	38	8
20	14	DC4	57	39	9
21	15	NAK	58	3A	:
22	16	SYN	59	3B	;
23	17	ETB	60	3C	<
24	18	CAN	61	3D	=
25	19	EM	62	3E	>
26	1A	SUB	63	3F	?
27	1B	ESC	64	40	@
28	1C	FS	65	41	A
29	1D	GS	66	42	B
30	1E	RS	67	43	C
31	1F	US	68	44	D
32	20	Space	69	45	E
33	21	!	70	46	F
34	22	"	71	47	G
35	23	#	72	48	H
36	24	$	73	49	I

Appendix　B　(付録B)
ASCⅡ Code Table (アスキーコード表)

DEC	HEX	PC & ASCⅡ	DEC	HEX	PC & ASCⅡ
74	4A	J	101	65	e
75	4B	K	102	66	f
76	4C	L	103	67	g
77	4D	M	104	68	h
78	4E	N	105	69	i
79	4F	O	106	6A	j
80	50	P	107	6B	K
81	51	Q	108	6C	l
82	52	R	109	6D	m
83	53	S	110	6E	n
84	54	T	111	6F	o
85	55	U	112	70	p
86	56	V	113	71	q
87	57	W	114	72	r
88	58	X	115	73	s
89	59	Y	116	74	t
90	5A	Z	117	75	u
91	5B	[	118	76	v
92	5C	＼	119	77	w
93	5D	]	120	78	x
94	5E	^	121	79	y
95	5F	_	122	7A	z
96	60	`	123	7B	{
97	61	a	124	7C	|
98	62	b	125	7D	}
99	63	c	126	7E	~
100	64	d	127	7F	△

アスキーコード表は１６進数で表記されております。

アスキーコード表の見方

例) STXのコード＜02H＞はHEXの列で参照されます。

Alt+ (他のキーと合わせてショートカットを使う) の場合はUSのコード＜1FH＞です。

初期状態に戻す [DEFAULT]

設定中断 [ABORT]

バージョン確認 [VERSION]

START (設定開始)

Support (補助機能)

☆DEFAULT (初期状態に戻す)

全ての設定を＜　＞で記述した初期値に戻します。

☆ABORT (設定中断)

設定中に現在の内容を破棄したい場合に利用します。このコードを読むことにより、以前設定保存した内容に戻ります。このコードは、各種設定ページの左下にも用意してあります。

☆VERSION (バージョン確認)

スキャナーのソフトウェアバージョンを表示します。パソコン側では、メモ帳等のキーボードデータを表示可能な状態にして読み込んで下さい。メンテナンス時には非常に重要です。

☆Start up code (スタートアップコード)

スキャナーのライトがついているのに読み込むことができない場合は「セットアップコード」を読み込んでみてください。スキャナーは再び読み込みます。そして、全ての設定はデフォルトセッティング（初期状態）へ戻ります。

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)

Output Interface (出力インターフェイス)

START (設定開始)

☆Output Interface (出力インターフェイス)

Keyboard Wedge (キーボードインターフェイス)

RS-232C (RS-232Cインターフェイス)

この設定はお客様で特に設定変更は必要ありません。

☆Mute (無音)

「Mute(無音)」を読み込みますと、最初の起動音はターミナル装置の起動時に無音モードになります。

☆Caps Lock (キャプスロック)

読み込んだバーコードの全ての文字について、指定された大文字･小文字に変換してパソコンに通知する機能指定です。アッパーケース（大文字）が選択されてキャップスロックオンになっている時、 あるいはローワーケース(小文字）が選択されてキャップスロックがオフになっているとき、出力スタイルはキャラクターケースと合致します。

<On (大文字)>

Off (小文字)

ABORT (設定中断終了)

END (設定保存終了)